

NIXINAMO DAYS

2008
WINTER

FOR ADULT
ONLY



ネコキノとは――

ネコとキノコの
融合体――

着脱可能な
フード状の傘と

ネコミミと
しっぽを持つ

力は弱いが
それらの
可愛い外見は

成人男性
寄主から
エネルギーを吸収
することに役立つ

そう――

NEKOKINO

こういう
話である

ご主人様っ♡
凄いよおっ

マドカ
MADOKA

そんな
に
されたら

ボクダメに
なっちゃう♡



ズッ
ズッ

5 びしょ濡れ

びしょ濡れ



うわ

うわ

うわ

うわ

うわ

うわ

うわ

うわ

うわ

うわ

うわ

もうダメ
ええっ♡

ダメえっ♡そこ
くりくりされたら
ボク真っ白に
なっちゃう♡

射精してっ♡

ご主人様の
精液ボクの中に
くらひゃいっ♡

やああっ♡

ボク
イっちやう♡

イっちやう
よおっ♡

イク

イク

えへへ♡
マドカの中

ご主人様の
あったかいので

いっほいっほ
です♡



NIXINAMO
DAYS
2008 WINTER

ハロゲン（ハローお元気ですかの略）
にびなも凸面体です。

NIXINAMO: DAYSは原稿合間の時間で、
最近描いたものを振り返って
反省したり補足したり愛で足りない
キャラをイラストとかちよつとした
漫画で描いみる（あとは没復活や実験）
というコンセプト、
今回2冊目になります。

まず前回07についてごめんなさい。
印刷所の方で修正を入れ直すという
ことでデータ原稿をプリント↓加工↓
スキャンという工程を取ったようで、
まるで粗悪なコピーを繰り返した
ような仕上がりでした。元々がラフな
鉛筆絵でしたが、その過程を経なかった
1頁だけ綺麗でしたね（加工の無い他の
頁もプリントスキャンされてるので、
この頁に関しては手違いでそのままに
なったらしいです）。

ともかく自分の手落ちでのことなので、
本当にすみませんでした。
（当日コピー本扱いで頒布したとはいえ）

前置きが長くなってしまいました、
今年も終わりということで2008年を振り
返っていいこうと思います。今年も、

前半（1月～7月）
表紙・裏表紙（ゼロエクス）

後半（7月～12月）
ネコキノ連載（ペンギンクラブ）

と合間にエリカ（スレイブヒロインズ）
を2本描かせて戴きました。

読み飛ばし用まとめページ

表紙

のこと

まず最初に雑誌表紙のお仕事か
ら振り返ってみます。

元々がCG描きなのでカラーを
描くのは好きなのですが、表紙を
描く大役を戴くことになりました。
ですが実績が無いという事は絵
を描く上で『描くことに携わらせて
もらえない領域』が増えることに
帰結します。表紙を見てくれた方に
「自分の絵っぽくない」と指摘され
ていたことへの説明はしておかな
いといけないとずっと思っていた
のでそのあたりの、自分の手元
に来る時には決定事項の事を。

例えば「構図」、シチュエーション
ありきで女の子に手が届く距離で
俯瞰で、という指定だったりすると
相応のポーズの掛かった構図しか
取れないわけで、しかもその手の構
図で表現できることはとても限ら
れたりするのであまり安易に使い
たくないのです。とある俯瞰構図を
描いているときは「専門学校のパ
ンフ」だったらアリな構図だなと自嘲
したりもしましたっけ。

【陰影】、折角の雨合羽の指定だと
思ったらフードは顔に陰を作るから
厳禁で：と言われると雨合羽の何を
絵の魅力として伝えたいのかなと
思ったりで、その魅力を描くために
あるべき設定が重荷にばかり感じる
こともありました。合羽の色も女性
色以外で、とか。○塾と言われたから
描いたら、ネタは困ると言われて、
それはそうだろうと思いつつも何で
そう指定したのかとか。構図も陰影
も自分にとっては描くことの重要な

一部なので、それを決定するという

ことは描き始めるということだから、
絵の方向性や目的地である見る側に
伝えることがあると期待されるので
す。それが特に無いとのことなので、
その続きを描くのに困惑してしまっ
ていました。困惑と書きましたが、最
初に断っていますとおおり、そういった
絵の『描く根幹に携われたい』状況は
偏に自分が『どんな絵を描くのか』

『読者にどんな絵を期待させるのか』
という実績が無い為で、編集部には
迷惑を掛けて申し訳ない思いでした
のです。それでも、見た人に何がした
いかわからないと言われるのが何
より辛かったです。当然なんですよね、
描いている自分もその絵のコンセプト
が何なのか掴むことが出来なかつ
たのですから。自分の『描いた領域』
は線を引くことと色を塗ることだけ
です。色については指定される構図や
設計の段階で意識されてなかったの
で後付けです。色塗りといえ、一度背景
をわざわざムラのある手書き風で添え
られたことがありましたが、表紙は自
分の名前でクレジットされていても、
『どこまで自分が描いた部分なのか』
というのは見ている側にはわかりにく
いものです。

コンセプトが無いならせめて「肌の
露出」を描かせてくれれば読者に見せ
る、描くポイントというのわかりや
すいのですけど、「構図」よりも設定優
先（読者に一枚絵で伝わる設定ならまだ
いいんですが）、【陰影】はライトでが
んとぼしてというグラビア風なカッ
トで、結局ただエロくない絵という方針
だったのかな、と思います。

こう言うと、不自由してるなと感じるかもしれませんが、自分はこの仕事にあたって、『自分の作品』を描くことではなく『表紙という商品』を描くべきと思っただけだったので、不自由なこととは個人的には不満ではありません。取引先が満足するならそれでOKです。ただ、結果が出なければ取引先は満足しないということですよ。というわけで、なるべく意図を汲もうとしたもののコンセプトを見直すよりも描く人を替える方が簡単という結論になり、今度方針を打ち合わせしようって言ってくれてたまま、今回で最後となりました。そして、ここまで書いたような、自分の表紙を見てくれた方への説明が残されました。

他の出版社に行った時に、(表紙仕事は見たらしく)単行本の表紙の時は塗り別の人がやってもらう選択肢もあるからって言われたのは、自分がカラー苦手という前提なんだろうなと思って、それまで意識してなかったけどなんだかそれ以来カラーに苦手意識がある気がします(笑)。単行本については実際、刷り部数捌け切らなかつたら迷惑が掛かるし、自分も困るので仕方ない部分だと思います。

雑誌表紙とは違うからと言われてもいざ単行本表紙の段になって、実績の無い自分のために構図や設定が指定されて、また会議で決定事項なので今回はこれと言われたときに、本出すの辞めます以外に選択肢が無い状況なんていうのは、自分にも応援してくれている方にも不幸なことだなと思います。

何か属性付けませんか？

あ、自分属性ありますよ

えっ？
何ですか？!

以前にもお話ししてんですけど…

ネコミミとか
非日常系の要素が
日常に入ってくる話
でも描かせて
もらえないんです
でしょうか？

ええ
ダメです

知ってます

ネコキノのこと

アシをやってくれるという知人が見つかって、そちらに定期的に仕事を渡せるようになる、そんなタイミングで連載のお誘いを戴きました。それまでは1人で月18頁が最大でしたので、月20頁のこの連載を描きながら月によって1本他社の仕事(コアマガジンやKTC等)を入れるペースというのは、アシありきの考えでした。月2本ペースに引き上げたい思いは予てよりありましたので良い機会でした。

非日常要素OK。あまりストーリーを張らずにキャラで転がすものかどうかと言われて、一先ず手元からダメ元で…

とりあえずすぐに
手元から出せる
ネコキノっていう
案としては

融合体で

外見は

ネコミミフード

なんですけど

そもそも過去に(あ、顔に影が…)
同人で作った
キャラなんですよね

まあこれは取り急ぎ
の案なんで後日
第2第3案を…

これ
いいですね

え？

これで
いきましよう

これ描いて
いいんですか？

…頑張ろう
(ぐっ)

あの…
えっと…

これで…
その…
おかずに
なりますか？



うふふ♡
いっぱい出ちゃい
ましたね♡



おっ
おっ

今度は
そのまま

私の中で
シますか？

んっ

んっ
んっ

んっ

んっ



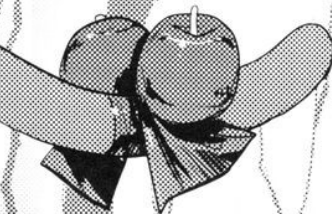
ネコキノのデザインはサークルの同人ソフト「森と触手のシューティング」で、サブヒロインの1つとして生まれたもの。第1案はキノコの女の子をデザインしようとしたものの、見た目の華やかさが足りないと一捻り加えてネコキノという形態に。

この時点での衣装はレオタード状のもので、首と尻尾の林檎は林檎の森の子猫たちに着想があるとか無いとか。

その後、お絵描きチャットなどでネコキノのバリエーションが誕生して、実はアルオメはこの頃にデザインされたキャラクターです。


「ネコキノと雨の町」で漫画に登場させるに当たって標準形から新たにマドカをデザインし直しましたが、衣装は色相をデザインの中心としていた初期型から、白黒でメリハリが付くように明度を中心としたものになっています。

「森と触手のシューティング」から7年、当時ネコキノをメインにしてそのうち何か作るかもと言ったことを覚えてる人はいないんじゃないかなと思います。



初期型もそのうちどこかで出番あるかな？


プロトタイプ
ネコキノ初期型



ツチグリ。普段は土中にある菌糸と増加合体して4倍体まで増幅可能。これまで2倍体と3倍体を描いたことがなかったので描いてみました。5倍体以降もありそうだけど未定ということで。

T.T.-GURI

ツチグリ



デザインした時はちょっと
頭部ごちゃごちゃし過ぎた
かなと思ったのですが描き
慣れてみたら意外とデフォ
ルメ時の安定感が良くて
気に入ってます。
でも今でも耳とかお下げと
か描き忘れそうになります。





解説:

ライトクルセーダーエリカ

KTC「スレイブヒロインズ」で
不定期連載の変身ヒロイン凌辱モノ。
ネコキノのラブラブと反対に
凌辱色が強いので苦手な人には
お勧めできません。



ラゲもなんか
するニヤ

わ：
私ですか？

えっと…
あの…

こんな感じで
いいですか？

RAGet ラゲ

ネコキノ 続き

自分の同人ゲームという趣味の中で生まれた突拍子も無いデザインのカラクターが商業の分野へ受け容れられたのは素直に嬉しかったです。

さて、知人にオンラインでアシを頼んだ顛末について。

ライトクルセーダー第2話とネコキノ第1話を納得行く形の作業を受け取った後のネコキノ第2話で、預けた原稿を最終日まで延期させた上、数日前渡したままの状態で返されてしまいました。そしてその日以来、辞めるとも言わずに連絡が無くなり、何度も会ってる間柄だったとはいえ、オンラインでの作業の難しさを痛感すると同時に、想定していれば作業の優先順位を変えて回避できたという自分の状況認識の甘さを後悔しています。

編集部の皆様、掲載作家の皆様、読者の皆様、
本当にすみませんでした。

先に触れたように1人で回すには重い仕事量の上に、トーン髪とか第1話の段階での作業量を見込んだデザインにしているの、第3話以降は十分ではない時間リソースの中で作業の取捨選択を、連載の中で模索しなくてはならないような状況に陥ってしまいました。すみません。

それでも、アンケートに励まされ、あんな失態でもなお描き続けさせてもらってるんだな、と実感しています。読者の皆様ありがとうございます。

ライトクルセーダー エリカ

のこと

…と、ここまでの事情により今年前半後半ともに酷くばたばたしてしまい、2回しか執筆することができませんでした。すみません。

最初連載のお話を戴いた時に隔月は難しいので不定期なら…と話したのが悪い意味で当たってしまったこととなります。とはいえ、KTCでのお仕事は元々年2回ペースで依頼を戴いていたので今年極端に少なくなつたわけではないのですけど。しかし改めて気づいてみるとどこにも

『不定期』連載と書かれていないので読者の方には隔月予定だと思われていたのかもしれませんが、ましてや第2話の時には『連載再開』というコピーが入ってましたので、慌てて第3話の巻末コメントに自分で不定期ですって書いておきました。続き物です。少しでも間隔短めに描きたいという意識はありますので長い目で見てもらえると有難いです。それでも続き物ならではのエロさが出れば良いなと思います。

第3話のプロットを出した時に自分と編集部で想定していた総話数が異なっていたようで、もう変身前陵辱はちよっと…って言わしたので話数を伸ばしてもらいました。第3話で自ら深みに嵌る様子を描くために第2話で周囲にがつつかせたくなったわけでも、それにしてもこの後少し削りつつ話を進めると思っています。『学校編』『街頭戦闘編』の2つが並走していますが、その2つを進めた後のもう1つ『**編』まで描くのが全体構想なので、打ち切りにならないければ。

あとがき

以上、今年は色々ご迷惑ばかりお掛けして、応援してください。ごめんなさいばかりが多かったので、ごめんなさいばかりになってしまいました。文章長くてごめんなさい。まだまだ未熟で、漫画についても形を成していないものを一通り描くのにはいっばい、いっばいの状態です。楽しんでもらえるものを描ければと精進するつもりですので、暖かく見守って戴ければ幸いです。

カラーについては、今回の本で口絵付にしたかったのですが、時間の都合上断念してしまいました。また改めて描けたらと思います。フルカラー本とか出せたら素敵ですね。というか、年内のメ切を終えてからこの本に取り掛かっているため、頁の都合が付きやすいような体裁になっていきます。少しでも楽しんでもらえてたら良いんですけど。そしてこれを書いている現在既に時間一杯です。ラゲ、ラフのままになっちゃいました。

また、次回頑張りますので、その際もお目に掛かれれば幸いです。では。

NIXINAMO DAYS

2008 WINTER

奥付
発行者 ■ アイソトニクス
発行日 ■ 2008.12.30
連絡先 ■ <http://isotonix.jp/>
印刷 ■ サンライズ

NIXINAMO: DAYS
2008 Winter

for ADULT ONLY

